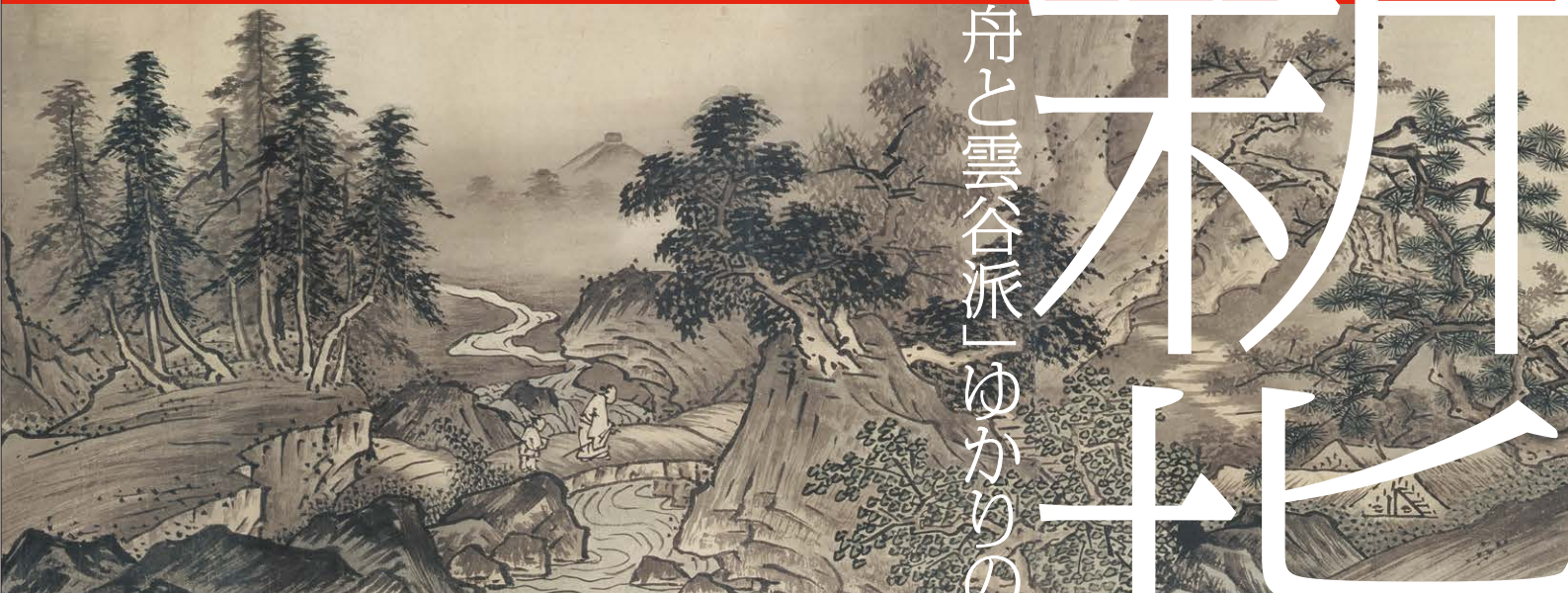


Newly Designated Important Cultural Properties: Sesshu and Unkoku School

「雪舟と雲谷派」ゆかりの新・国指定文化財6点を公開。

新指定



【新指定】重要文化財 雲谷等益 《四季山水図》模本(部分) 毛利博物館蔵

新指定・重要文化財紹介

雪舟と雲谷派

2023

10.13 FRI — 12.3 SUN

同時
開催

生誕110年 松田正平展

毛利博物館所蔵「源氏物語絵巻」—はじめて出会う『源氏物語』

【会場】山口県立美術館 コレクション展示室

【開館時間】9:00～17:00(入館は16:30まで)

【休館日】月曜日 ※ただし11月6日[ファースト・マンデー]は開館

【観覧料】一般 1,000(800)円/シニア・学生 800(600)円/18歳以下無料

※シニアは70歳以上の方、()内は20名以上の団体料金。

※高等学校、中等教育学校、特別支援学校在籍の方等は無料。

※障害者手帳等をご持参の方とその介護の方1名は無料。

※同時開催中の《生誕110年 松田正平展》、《毛利博物館所蔵「源氏物語絵巻」—はじめて出会う『源氏物語』》もあわせてご覧いただけます。

【主催】山口県立美術館、yabi山口朝日放送 【共催】公益財団法人毛利報公会 毛利博物館

【特別協力】エフエム山口

※会期中、展示替えを行います。

山口県立美術館

<https://www.yma-web.jp>

状況によっては、会期・入場方法等が変更になる場合がございます。ご来館の際は、当館ウェブサイトにて最新の情報をご確認ください。

新指定・

重要文化財

雲谷派4作品

日本絵画史を代表する室町時代の画僧・雪舟等楊(1420-1506?)。雪舟畢生の大作・国宝《四季山水図(山水長巻)》を、雲谷等顔(1547-1618)が毛利輝元(1553-1625)から授かり、雪舟の画風を継いだことが、萩藩お抱え絵師「雲谷派」の始まりです。

雲谷派の画家たちは《山水長巻》を模写することで雪舟の画法を学習し、さらに雪舟の肖像画を描くことで、「雪舟流の正統な継承者」としての立場を対外的に示しました。この雲谷派による《山水長巻》模本と《雪舟像》を含む4作品が、「雪舟から雲谷派への系譜」を知る上で欠かせない作品と評価され、このたび重要文化財に指定されました。

本展では山口県内の新・国指定文化財6点を中心に、「雪舟と雲谷派」ゆかりの作品計15点を公開し、雲谷派の活動の原点について紹介します。

雲谷派2代
《雪舟4代》



重要文化財 雲谷等益《四季山水図》模本 17世紀前半 毛利博物館蔵

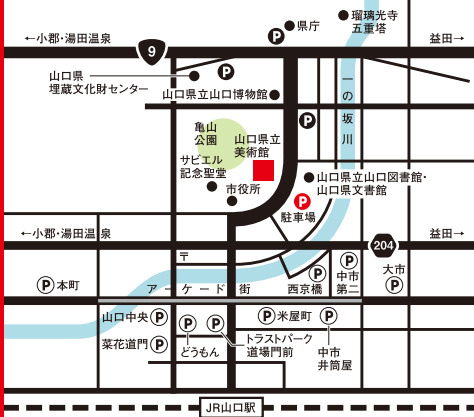
雲谷派2代・等益は、雪舟の画法をそっくり模写するのではなく、独自の様式に変えて描きました。今回は、国宝《山水長巻》(毛利博物館蔵)の【附】*として新指定された、狩野古信《四季山水図》模本も紹介します。雲谷派と狩野派の雪舟学習の違いにご注目ください。

* 附(ついたり)：指定文化財の履歴や価値等を補完し、同一保存が望まれるもの。

※10月13日～11月12日：等益筆模本は前半、古信筆模本は後半部分、
11月14日～12月3日：等益筆模本は後半、古信筆模本は前半部分を展示します。

《山水長巻》の学習と 継承のかたち

会場内では、《パノラマ山水長巻-デジタル映像による国宝・四季山水図》もあわせてご覧いただけます。



【交通案内】

- JR新山口駅から山口線に乗り換え山口駅下車、徒歩約15分
- JR新山口駅から防長バス山口行きで約30分
- JR防府駅からJRバス山口行きで約35分
- [山陽自動車道]防府東ICから車で約25分
- [中国自動車道](広島方面から)山口ICから車で約15分
- [中国自動車道](九州方面から)小郡ICから車で約25分
- ※駐車場は美術館周辺の各駐車場をご利用ください。
- 駐車場は無料。(200台)
- ◎ は無料。① は最初の1時間のみ無料となります。(1時間無料券を配布しますので駐車券をお持ちください。)
- 県庁駐車場は土・日曜、祝日のみ開放となります。

山口県立美術館

〒753-0089 山口県山口市亀山町3-1 Tel.083-925-7788
<https://www.yma-web.jp>

INFO

毛利博物館・特別展《国宝》10月28日(土)～12月4日(月)

国宝・雪舟《四季山水図》をはじめ毛利家伝来の名宝を特別公開。当展とあわせてご観覧ください。
 毛利博物館(山口県防府市多々良1-15-1 Tel.0835-22-0001)

雲谷派3代
《雪舟5代》

雲谷派2代
《雪舟4代》



2つの雪舟像

《右》重要文化財 雲谷等益《雪舟等楊像》玉舟宗瑠賛
 寛永16～21年(1639～44) 山口・常栄寺蔵(山口県立美術館寄託)
 [展示期間：11月6日～12月3日]

《左》重要文化財 雲谷等與《雪舟等楊像》天祐紹杲賛
 寛永16年(1639)賛 山口県立美術館蔵
 [展示期間：10月13日～11月12日]

2代・等益と3代・等與それぞれが描いた雪舟の肖像画で、雲谷派が「雪舟流の継承者」であることを象徴する作品。上部にはいずれも京都・大徳寺の住職が賛文を記しています。等與の雪舟像は今年山口県に寄贈され、当館では4点目の重要文化財となりました。

雲谷派初代
《雪舟3代》



常栄寺・第3世の肖像

重要文化財
 雲谷等顔《惟松円融像》
 慶長16～19年(1611～14)賛
 山口・常栄寺蔵(山口県立美術館寄託)
 [展示期間：10月13日～11月12日]

学芸員によるギャラリートーク ※各回45分程度、事前申し込み不要

【日時】10月21日(土) 10:00～、10月28日(土) 14:00～ 【会場】山口県立美術館 コレクション展示室